

生活健康基礎調査

一般生活者の健康意識・実態のアンケート調査

生活者の健康意識・実態を1991年から継続調査
今の生活者を知り、開発・営業・プロモーション戦略に

1 16～79歳の幅広い対象者

情報接触や購買行動が他の世代と大きく異なる10代から、ヘルスケアカテゴリーの大きな市場である「団塊の世代」の70代まで、幅広い世代を網羅しています。
※70代の聴取は2018年度から実施

2 1年以内の自覚症状を聴取

全68症状について、自覚症状/症状の程度/症状への対応策/慢性状況を聴取しています。

■聴取症状一部掲載

鼻づまり・鼻水、目の疲れ、かぜ、肩や首筋のこり、花粉症、喉の痛み、肌の乾燥、聴力の低下、胃の痛み、寝つきが悪い 等



23年のトピックテーマは **睡眠**

毎年、話題のトピックをテーマとして聴取しています。

睡眠関連商品が多く発売される中、睡眠の実態に迫ります！

睡眠時間や睡眠への満足度は？

- ・睡眠の質を高めるためにどんな対策をしている？
- ・睡眠の質を下げる要因は何か？

<過去トピックテーマ>
・22年度：計測・記録している身体や健康に関するデータ
・21年度：ドラッグストア・薬局利用時に聞きたい情報／新型コロナウイルス感染拡大前後での意識・行動の変化

3 症状の予防実態の把握

疾患の「予防」は、ヘルスケアカテゴリーにおいて近年もっとも注目されている市場です。
全28症状について、関心のある症状、対策有無、対策方法、対策目的、満足度を聴取。

■聴取症状一部掲載

薄毛・抜け毛、物忘れ、老眼、しみ・そばかす、肝機能の低下、整腸・腸内環境、血糖値が高め、高血圧・血圧が高め、免疫力の維持・向上 等

4 トレンド・時系列の把握

1991年から毎年実施して、**今年で33回目**。
30年超のデータが蓄積されているため、トレンド・時系列の把握やコーホート分析が可能。

■分析・活用例

- ・●●の症状が近年増加している
⇒市場ポテンシャルがありそう
- ・▲▲の関心が高まるのは40代から
⇒この商品ターゲット層は40代にしよう

調査設計

- ・調査方法：郵送調査
- ・調査対象：16～79歳の男女個人
- ・調査地域：京浜/京阪神
- ・有効回収数：約2,500サンプル

納品物

- ・報告書（PDF）
- ・報告書冊子：3冊
- ・調査データ
（インテージ集計ソフト：Lyche-Epoch）

価格（税別）

100万円（最新版）

サービスへのお問合せ

株式会社インテージヘルスケア
ヘルスケアリサーチ1部

【担当】久保田・氷高・戸根
※上記担当までお問合せください。

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台4-6
御茶ノ水ソラシティ13階
www.intage-healthcare.co.jp